

金芝河 民衆の聲

金芝河

金芝河作品集刊

編訳／サイマル出版会

民衆の声

民衆の声 金芝河 著

THE SIMUL PRESS, INC., Tokyo, Japan

© 無断転載を禁ず

(発行所) 株式会社 サイマル出版会

編集発行人／田村勝夫

東京都港区赤坂1-11-45興和第3ビル(〒107)

電話 (03) 582-4221(代)／振替・東京52090番

印刷・製本 凸版印刷株式会社

1974年 Printed in Japan <0398-110434-2703>

金芝河と南朝鮮（まえがき）

一九七四年七月、毎日のように、ソウルから胸をさすニュースが伝えられてきた。指呼の間、東京から飛行機でわずか二時間たらず。梅雨のあがった韓国の空はこよなく澄んで美しいというのに、若い学生や世界的に著名な知識人があいつぎ死刑や無期を宣告されている。

そのなかの一人に金芝河^{キムジハ}がいる。一九四一年、かれ自身が「灼けつく南は反乱のくに」とうたった朝鮮南部の全羅南道に生まれ、少年時代を朝鮮戦争の悲惨のなかに送り、ソウル大学文理学部美学科に入學して六〇年の李承晩打倒四・一九革命で指導的役割を果たして以来、朴軍事政権・日韓会谈反対運動の行動的牽引車であったばかりでなく、痛烈な風刺詩で特権層の不正腐敗を糾弾し、怒りと情熱を見事にうたいあげてきた行動詩人・金芝河。そのかれが、七月十三日、非常軍法会議で死刑の判決をうけた。世界的な抗議の声に二十日、無期に減刑されたとはいえ、手放しによるこぶことはできない。これまでの韓国での数多くの例が示しているように、これが形をかえた、人目につかない殺人のための新たな措置にもなりかねないのだ。

隣国のすぐれた抵抗詩人に死の危険が迫り、そういう非道を黙過しえないという感情が救援運動の原点である。と同時に、われわれをつき動かすのは、さきの「金大中事件」に続いて、この金芝河を巻き

こんでフレイムアップされ「民青学連事件」であらわになった、極度に抑圧された韓国の政治社会状況であり、日本政府・独占資本との暗い癒着なのである。

ソウル大学の学生ミニコミ紙「知性」(一九七一年五月二十四日付)は、韓国の不正腐敗と不正選挙を論じながら、その背後にある日本の存在を指摘してつぎのように書いた。

「朴政権は、ソウルや全国各地に展示用の建設をおこなった。それがかれらのいう経済成長である。しかしそれは大部分が日本のものであり、われわれのものではない。また日本の韓国にたいする経済・軍事・政治的利害関係は、新植民地的政治介入を招くようになるであろう。こうして日本は不正選挙・不正腐敗の論理の中に加担しており、ゆえに不正腐敗—不正選挙—日本と一体の論理をなしている」

六九年の大統領三選に道を開く三選改憲国民投票の直前には、日本政府は朴政権に浦項製鉄所建設などを理由に一億ドルを供与した。七一年の大統領選の前年には、ソウルの地下鉄建設費として二億ドルが供与された。いずれも、日本からのテコ入れが、韓国民の強い批判にゆれる政権基盤たて直しのために大きな役割を果たしている。

そればかりでなく、早川、太刀川両氏をスケープゴートにした反朴愛国者弾圧のための「民青学連事件」では、日本政府は、表向きはともかく、この二名への措置に暗黙の同意を与えてきた疑いがある。これら日韓両政権の癒着のなかで、金芝河はじめ、すぐれた人びとの大弾圧事件が発生しているのである。

いま、金芝河ら多数の人びとへの極刑、重刑判決に対して、ハンストや集会、デモ、署名運動、作品の朗読など多様な形で、抗議行動・救援活動は日ましに高まり、深まっている。それは、日朝両国民の

真の国民レベルでの友好と連帯の運動、世界の民主主義とヒューマニズム擁護の運動でなければならぬだろう。読者が本書を通じて、金芝河ら韓国の抑圧された人びとが死を賭して訴え、糾弾しなければならなかったものはなにか、またなにゆえなのかを理解されるならば幸いである。

最後に、隣国の実情を憂慮して本書の出版を快諾されたサイマル出版会の田村勝夫社長はじめ、竹内正年、諏訪部大太郎氏ほか固いチームワークでご協力いただいた同出版会のみなさんに、心からの感謝をささげたい。

(一九七四年七月)

金芝河作品集刊行委員会

民衆の声・目次

金芝河と南朝鮮（まえがき）

第1部

民衆の声

3

蜚語

25

桜賊歌

71

五賊

101

「民主主義万々歳」ほか八篇

133

第2部

現実同人第一宣言

159

黄土（抄）

205

〈付録〉1 民青学連宣言

2 資料・大統領緊急措置

233
238

〈解説〉金芝河の作品について

243

金芝河 民衆の声

第1部



金芝河が描いた〈五賊〉の風刺画

民衆の聲

다니 다고 다이나고니 단
 본이 없밥고 다이지나고니 단
 회박나 피를나는것구상수
 심경마 피를나는것구상수
 존의것의통저이게전지
 의자와것자삼다선에게선유
 외자음로국민사두민치권
 태외민근국민의구국민정
 에것정책어어고이서딱이
 와것정책어어고이서딱이
 폐는제곱수능범다갑이
 망하는것곱수능범다갑이
 업라 의업고입와담제
 산이 권업고입와담제
 안이 권업고입와담제
 낙이 권업고입와담제
 국이 권업고입와담제

おれらの訴えきいてくれ、腹がへってやりきれぬ

いつまでこらえて、おえらがた為政者、信じろ信じろとおしつけるのか

低い所得にあえぐ身は、物価高におしひしがれ

八〇年代待ち望み、しめた胴体真っ二つ

国際ショックをいいわけに、責任回避するのかい

みえすいたる小細工やめて、責任とってひきさがれ

維新⁽¹⁾という名の看板かけ、国民大衆欺いて

民主憲法圧殺の上に、維新独裁確立し

基本権利はあとかたもなく、生存すらもおびやかされ

反体制をうちだした、民主人士を獄にやり

学生たちと宗教人を、反逆者として追いたてて

恐怖政治、暴力政治、最後のあがきというもののか

政権の危機を悟ったならば、道理に従いひき下がれ

政治ゴロツキ、五・一六⁽²⁾の、売国行為をあばいてみよう

帝国主義の日本野郎が、民族独立抑圧すると

日本軍に入隊し、独立軍をひつとらえ

アメリカ野郎がおし入ると、そちらに出向いて追従し

あちらこちらと綱渡り、機会ばかりをうかがって

四月革命⁽³⁾花咲くとき、クーデターをひきおこし

娘っ子が妊娠^{はら}んでも、一応の理屈はあるものさ

民族逆賊五・一六も、口先だけはきれいごと

反共というスローガンかけ、旧悪一掃叫びつつ

民の苦しみ解決すると、革命公約うちだしたが

民生復帰といいながら、軍服だけを着がえただけ

それ近代化だ建設だ、対外依存の名分探し

韓日国交開いてからは、本格的な民族背反

外国資本ひきいれて、民族經濟破綻させ

特權層が財を積み、新惡⁽⁴⁾どもが羽根のばすとき

“中断のない前進だ”と、三選改憲⁽⁵⁾断行し

個人独裁主張して、自己合理化に努めたが

七〇年代はゆたかだと、宣伝してはふれまわり

政權交代熱望する、市民の喊声高まると

“混乱のない安定だ”と、国民脅迫ほしいまま

郷土予備軍と教練で、危機意識をあたりたて

みなもとからの不正のなかで、選挙ごっこをしでかした

豊かなはずの七〇年代、貧困ばかりが迫ってくると

非常事態を宣言し、暴力でもっておさえつけ

民族統一あざむいて維新独裁確立しては

八〇年代所得千ドル⁽⁶⁾、目をくらませてたぶらかし

絶対権力十三年に、五賊⁽⁷⁾ばかりが肥え太り

中断のない腐敗の中の、混乱のない栄華だと

民の怨声高まれば、腐敗一掃公約し

政權の危機近づけば、不正取締りで手柄顔

頭目どもはビクともせず、小物ばかりが追い出され

高まるものは怨みの声、積まれるものは憤怒なり

国民総和、総力安保、いつもの口ぐせくり返したが

貧富の格差の拡大に、総和前進とはとんでもない

抑圧のもと秩序とは、混乱ばかりが深まりゆく

子供あやす国会議員を、付添女にしたてては

大統領が法官任命、三権分立なくした上に

統一主体国民会議⁽⁸⁾、あやつり人間選びだし

ファッショ根性むきだして、民主主義と決別すると

国民たちの抵抗の中に、国際孤立を招いたわい

鼻にかければ鼻輪となり、耳にかければ耳輪となる

反共法と保安法、政權維持の手段にし

文人たちと知識人を、スパイだといってでっちあげ⁽⁹⁾

流言蜚語法を作つては、民主市民をひつとらえ
法治國家の名の下に、惡法どもがあと絶たず
經濟隸屬担保にし、独裁政權維持しつつ
國際ショックわずかでも、國民經濟大ゆれし
石油ショックを口実に、隸屬經濟隱蔽するな
國民はみな知つてゐるぞ、為政者どもの經濟失策
經濟協力の美名の下に、新植民地となりはてて
經濟自立ほど遠く、祖國統一むずかしい
五十億ドルの借金では金を借りるも楽じゃなく
東南アジアにヨーロッパ、物乞い使節特派して
あわれなるかなわれらの身の上、國際乞食におちぶれた
輸出立國といばつてみても、貿易赤字拡大し
石ころから石像まで、手あたりしだい積みだして
百億ドル⁽¹⁰⁾まで輸出すれば、國土すらも残るまい
援助穀物を愛しては、農村經濟ぶちこわし